

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 60

2019年5月発行

法人設立 15 周年 記念フォーラムを開催します！



2004年4月に当法人を設立し、5月に「出会い つながり 夢を語ろう」と設立集会を開催して、地域の方々の声を聴いて受けとめ、活動を始めました。障害当事者の方々や支援者と一緒に障害者の暮らしやすいまちづくりの活動をスタートし、子育てサークルの方々と一緒に子育て支援の活動を行い、脳血管障害者・医療的ケアの必要な子どもの家族・不登校児の家族といったセルフヘルプグループ（当事者会）の支援活動を始めました。区社会福祉協議会と協働で福祉教育の取り組みもしました。旭区アクションプラン（地域福祉計画）の計画作成から実施の終了まで参画し、まちづくりの活動に力を注ぎました。障害児の余暇を豊かにする活動や、障害児や不登校児の保護者支援にも力を入れてきました。そして、障害児の自立に向けた支援として、「こどもから始める個人将来計画」と「自立生活プログラムこども版」の開発に取り組みました。10年間があつという間に経ちました。

収益がなく、毎年、助成金で活動を行っていたので、安定した活動を長期計画のもとで継続したり、ボランティアの拠点がなくて一見さんのボランティアが多いことも課題でした。「こどもから始める個人将来計画」と「自立生活プログラムこども版」の実践を行いたいという思いもありました。そこで、2014年に、放課後等デイサービスを始めました。

当初、福祉サービス事業に追われ、それまでの10年間の活動がなかなか継続できないジレンマを抱えながら、とにかく「今」を乗り越えることで精一杯でした。それでも、地域自立支援協議会の活動、特にこども部会の活動は部会長を務めてきました。また、地域活動協議会や区内の子育て支援の定例会には参加してきました。地域福祉の活動を地道に続けてきました。ようやく、昨年からは、地域密着の子育て支援活動を再開しました。

15年が経ち、改めて、活動を見つめ直し、「子どもの居場所」をテーマにフォーラムを開催します（P7 参照・別紙チラシ有）。貧困・虐待・いじめ・不登校など、さまざまな課題の中で「しんどさ」を抱えている子どもたちは少なくありません。子どもたちが自尊感情を育み、自分らしく生きていくことができる環境を地域住民・学校・子どもの協働で創り出していければと思っています。更なる一歩に向けて、歩き出したいと思います。

設立から15年もの間、活動を続けることができたのは、たくさんの賛助会員の方々の応援や、地域の方々のご理解ご協力のおかげです。心よりお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。（地域生活サポートネットほうぷ理事長 向井裕子）

清水フェスティバル

日時：2019年3月3日（日）10:00~14:00

ほうぶの参加者：こども13名、学生ボランティア8名

主催：清水校下地域活動協議会

今年も、清水フェスティバルに参加しました。子どものお客さんが多いことから、七宝焼きも小ぶりな製品にして安く販売するとともに、「作って持って帰る」体験コーナーとして、革のキーホルダーへのイニシャル・模様の刻印入れや、くるみぼたんを使ったピンバッチ・ヘアアクセサリ作りを用意して、お客さんとの交流を重視しました。雨の予報が出ていましたが、なんとか雨にあわず、たくさんのお客さんが来てくれました。

今回、ほうぶの店は、初参加の子どもや「しごと」を意識するには幼い子どもの参加が多く、学生ボランティアと1対1での活動ができなかったことや、参加した子どもの対応に追われる場面があり、課題もたくさんありました。次回に活かしていきたいと思います。フェスティバルの準備から片付け、後日の報告会にもスタッフが参加する中で、ようやく地域の役員の方々と同様にもなれて良かったです。

<ボランティアの感想から>

- ・Aちゃんとペアで、販売を担当しました。最初の方は「帰りたい」と何回も言っていたのですが、いざ販売を開始すると、「いらっしやいませ」と大きい声で言ったり、チラシ配りでも一生懸命がんばったりしていたので、良かったなと思いました。
- ・今日は清水フェスティバルに初めて行かせてもらいました。思っていた以上ににぎやかでした。食べ物の売店はすぐに長い行列ができていて、食べるのにも一苦労でした。ピンバッチのボンド、全然付けられなくてお客さんに迷惑をかけました。
- ・Bくんの担当をしました。校庭の遊具に登りしばらく楽しそうに遊んでいました。お母さんがお客さんで来られて、見送ったあとに帰ろうとして、荷物をおいたままで無断で外に出てしまいました。うまく止めることができず、ずっとついていたのですが、スタッフが来てくれ一緒にコンビニでおにぎりを買って帰りました。Bくんはコンビニでごはんを買ったから、外に出ようとしていたのに、その気持ちを考えず、むりやり戻ろうとしたのが反省点です。危険な場面での対応もスタッフに教えてもらいました。子どもの気持ちを尊重すること、きびしく言うところのさかいめが難しいと思いました。



放課後等デイサービス「楽童ほうふ」報告

楽童ほうふには、さまざまな年齢の子どもたちが集っています。小さい子どものお世話を体験をしたり、お兄さんやお姉さんの真似をしてみたい気持ちが芽生えたり、異年齢の子どもたちの関わりが、子どもの成長にとって大切だなあと感じながら活動しています。土曜日に、音楽・創作活動・外出などさまざまな体験活動をしていきますが、同時に、日々子ども同士の関わりやスタッフとの関わりを丁寧に積み重ねていくことが、子どもの主体性を育むと実感しています。

1月4日は、電車に乗って大阪天満宮に初詣に行きました。新年は書き初めをしたり、双六作りをしました。1月26日、地域で活動しておられる「さくらの会」の方々に来ていただき、昔遊びを楽しみました。一緒に手作り双六をしたり、コマ回しや竹とんぼをしたりしました。2月2日は、節分の豆まきと巻寿司づくり、2月9日はバレンタインのチョコレートのお菓子作りをしました。3月12日には、ほうふを卒業する女子高校生2名とスタッフ2名でATCまで卒業遠足に行きました。卒業生たちはコスモスクエアから住之江公園のニュートラムに乗って、ほうふの活動で地下鉄全線制覇を果たしました。また、2月と3月に、二人の個人将来計画ワークショップを開催しました。それぞれ、学校の先生や卒業後に行く事業所の方や計画相談の事業所の方が参加してくださり、卒後への引き継ぎを行うこともできました。応援ブック（サポートブック）も作り、次の事業所の方々にバトンタッチをしました。

スタッフ研修も充実させました。クッキングをよく行うので衛生面の基本的な知識をもち安全に調理ができるよう、12月1日にわけて、常勤職員4名が食品衛生責任者講習を受講しました。2月12日に東大阪大学の潮谷光人先生をお招きし、アルバイトも参加して職員研修会を行いました。「施設内虐待を防ぐためには？ 子どもの権利を大切にしたい支援とは？」について学びました。4月18日には、エルムおおさかの訪問指導を受けました。今後も、子どもの「最善の利益」を忘れず、支援の質の向上を目指していききたいと思います。



ピラティス

日程：2019年1月7日（月）15：00～16：00

3月23日（土）14：30～15：30

参加者：1/7 子ども6名、3/23 子ども10名



講師：石橋晃子氏

1月7日は、お正月後の気分転換と思い、講師を招いて親子ピラティスを企画したのですが、残念ながら保護者参加無し。結果、冬休みと春休みに子どもとスタッフでピラティスをしました。前半、ストレッチをして、後半は、音楽に合わせて楽しくダンスをしました。石橋先生のリードがとても上手で、子どもたちは、恥ずかしがるかと思いきや、結構ノリノリでやってくれました。ストレッチは、自分の身体や動きを意識でき、心身の安定にいい感じです。今後も長期休暇中などに行っていきたいと思います。



車椅子バスケット観戦

日程：2019年2月16日（土）

参加者：子ども6名、ボランティア7名

行き先：丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）

国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会を見に行きました。きっと迫力あって面白いだろうなとは思いましたが、ハーフタイムや昼休みなどに飽きさせない工夫もあり、競技用車椅子に乗ってシュートする体験もでき、楽しい時間となりました。

<ボランティアの感想から>

- ・今日はCさんとペアでした。Cくんは遅刻してきて、みんなと合流したときに、みんなにごめんなさいと謝って、僕自身ほっこりしました。試合の間にあったチャレンジコーナーでは、最初全然行きたがらなかったのに、途中で急に行くって言い出したと思ったらマスコットキャラクターに会いに行くだけだったのが面白かったし可愛いなと思いました。最後には体験もして、日本戦では全力で応援してたので、僕も楽しませてもらい良かったです。
- ・今回初めて車いすバスケットボールを観戦しました。スポーツの試合自体とても久しぶりに観たんですが、点をきめるシーンではみんなが盛り上がるので、自分と自然と盛り上がれて楽しかったです。実際に車いすに乗ってシュートの体験をさせてもらったのですが、想像以上に入れるのが難しく、選手がとても練習していることが実感できました。
- ・最初の頃は車いすバスケの試合を見る気があまりなさそうな子ども、実際に試合が始まってしまうと、結構、楽しそうに観ていたので、良かったです。私もついつい夢中になって観戦していたので、皆で応援できて楽しかったです。



お花見

日程：2019年3月30日（土）

参加者：子ども9名、ボランティア8名

城北公園にお花見に行きました。雨の降りそうな天気で、決行しようかどうかと

悩みました。傘を持って出発しました。子どもたちは、片道 30 分以上の道のりを並んで歩くことができ、成長を感じました。桜の咲く中、芝生の上でお弁当を食べました。その後、河川敷の散歩をしたり、広場でサッカーをしたりして遊びました。天候が心配だったので、当初の予定より 1 時間ほど早めに帰路につきました。すると、ほうぶに着いた途端に強く雨が降り出しました。なんとか濡れずに帰ることができました。

<学生さんの感想から>

- ・久々にDくんの担当をしましたが、以前と比べると大きく成長しているなと思いました。体力もついてきていますし、言ったことをすんなり聞いてくれるようになっていました。今年のお花見は、移動がスムーズに進み、雨が降るギリギリの所で帰ってくる事ができたので大成功だったと思います。
- ・初めてEさんを担当しました。明るい子で道中に話をしてくれました。昼の自由時間では河川敷に行きたいということで散歩をしました。散歩中、車椅子で行けない所があり、皆と一緒に行けなかったので少し残念ではありました。



● 地域活動報告 ●

- 1月16日(水) 清水地域子育てボランティアグループ定例会に参加
旭区地域自立支援協議会に参加
- 1月18日(金) 清水地域活動協議会に参加
- 1月31日(木) 旭区地域自立支援協議会 事業所連絡会(児童)準備会に参加
- 2月15日(金) 清水地域活動協議会の会議に参加
- 2月18日(月) 旭区地域自立支援協議会 事業所連絡会(児童)準備会に参加
- 2月22日(金) 旭区地域自立支援協議会こども部会に参加
「就学進学なんでも相談会」「子育て応援むけ」次年度に向けて
- 3月1日(金) 子育て支援「あさひの輪」に参加
- 3月3日(日) 清水フェスティバルに参加
- 3月6日(水) 旭区地域自立支援協議会 事業所連絡会(児童)に参加
- 3月20日(水) 旭区民生委員協議会で、旭区地域自立支援協議会こども部会の紹介
旭区地域自立支援協議会に参加

3月27日(水) 清水地域子育てボランティアグループ定例会に参加

4月28日(日) 清水地域活動協議会 防災部会委員打合せに参加



◆旭区地域自立支援協議会

<事業所連絡会(児童)>

昨年度末に事業所連絡会が立ちあがりました。区内の事業所数が多いので、大人の事業所と子どもの事業所(児童発達と放課後等デイサービス)に分けて設置されました。事業所連絡会(児童)では、8事業所が準備会に参加しました。3月6日に第1回連絡会を開催し、13事業所が集まり意見交換をしました。今後、事業所間の情報交換、交流イベントの開催、保護者支援、区民や関係機関への情報発信などを行っていききたいという意見が出ました。まずは、事業所情報をまとめて冊子にし、地域に発信します。

<こども部会>

就学進学なんでも相談会を開催します!

会場:旭区内10小学校と旭区役所 日時:6月から実施(10時~12時を予定)

*5月より日程を記載したチラシを配布します。

8月に 子育て応援セミナーを開催予定です!

今年度は、「福祉と教育の連携」を目的に、教育機関や福祉サービス事業所や区役所と協力して勉強会や意見交換会を行う予定です。事業所連絡会(児童)作成の旭区事業所(児童)情報冊子を「就学進学なんでも相談会」で使用する他に、「福祉と教育の連携」でも活用し、幼稚園・保育所・小中学校等に配付していく予定です。

また、地域に向けて、自立支援協議会やこども部会の活動を広報し、地域の方々のご理解とご協力を得られるようにしていきます。

◆こども相談ほうぶが「ブックスタート」実施施設になります

大阪市では、3か月児健診の対象となる親子に絵本を配付し、絵本についての話と読み聞かせや、手遊び等、赤ちゃんと保護者が楽しめる30分程度のプログラムを実施しています。

◆清水地域子育てボランティアグループ

昨年、清水地域において、小学校、幼稚園・保育所、主任児童委員さんと民生委員さんと協働で「清水地域子育てボランティアグループ」を立ち上げ、地域密着の子育て支援活動を開始しました。学期に1回程度の定例会を開催し、情報の交換を行っています。

そして、清水地域の「子育てサロン」や保育所・幼稚園等の「園(所)庭開放」など、子どもを連れて遊びに行く場所と、子育ての相談ができる場所を掲載したA4サイズの用紙を作成し、子育てサロンや保育所・幼稚園に配付するほか、清水地域の新生児のお家に健診の案内と一緒に届くよう区役所をお願いをしました。当法人は相談場所として「こども相談ほうぶ」を載せました。たくさんの温かな目で見守ることのできる地域になればと思います。

サービス名	実施場所	実施日時	内容
子育てサロン	旭区役所	毎月第1回	子育てに関する相談や情報交換を行います。
幼稚園・保育所	区内各施設	毎月第2回	園庭開放や子育て支援を行います。
小学校	区内各施設	毎月第3回	就学に関する相談や情報交換を行います。
民生委員さん	区内各施設	毎月第4回	子育てに関する相談や情報交換を行います。
主任児童委員さん	区内各施設	毎月第5回	子育てに関する相談や情報交換を行います。

つながりの中で暮らす 自分らしく生きていく ～子どもの居場所づくりにむけて～

日時:2019年 6月15日(土) 13:00～16:30 (12:30～受付開始)

会場:大阪市立清水小学校 体育館 参加費:無料

申込:NPO法人地域生活サポートネットほうぶ(Tel06-6953-2665 Fax06-6953-2655)

貧困、虐待、いじめ、不登校など、さまざまな課題のなかで「しんどさ」を抱えている子どもたちは少なくありません。子どもたちが自尊感情を育み、自分らしく生きていくことができる環境を地域住民・学校・子どもの協働で創りだしていく必要があるのではないのでしょうか。

静岡県で制度の枠組みにとらわれないさまざまな居場所づくりに取り組んでいる川口正義氏をお招きして、その実践をお聞きし、子どもに寄り添う支援について地域のみなさんと共に考え語り合い、今後の活動の一助にしたいと思います。



第一部 川口 正義 氏 講演

今、子ども・若者と家族が求めている支援とは？

～子どもの「居場所」の意味と役割～

第二部 みんなで語り合おう！ 子どもの居場所づくり

「子ども」と「おとな」をこえて

ファシリテーター 新崎 国広 氏(大阪教育大学)

資料準備のため

お申し込みを

お願いします

共催：特定非営利活動法人両国人権・福祉・交流センター、清水地域子育てボランティアグループ
後援：大阪市教育委員会／旭区役所／旭区社会福祉協議会／清水校下地域活動協議会／新森校下地域活動協議会／両国人権教育ネットワーク／清水小学校PTA／新森小路小学校PTA／旭東中学校PTA

15年は見方によって長くもあり短くもあり。とにもかくにも、よく続けてきたなあ振り返っています。NPO法人は10名以上の社員でつくります。当法人は、常時10名の社員で活動をしてきましたが、立ち上げ当初の8名が15年間ずっと共に活動をしてきました。私以外の社員はそれぞれに忙しく仕事をしながら、手弁当での活動です。途中3名の社員が入れ替わりながら、現在は3年前から加わった2名と共に活動しています。半数以上は同世代で、定年間近。共に歳を重ねてきました。社員の支え合いがあって「ほうぶ」の15年があります。この場を借りて感謝の想いを伝えたいと思います。

自分たちそれぞれの人生も大切にしながら、より地域に根ざした活動をしていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

